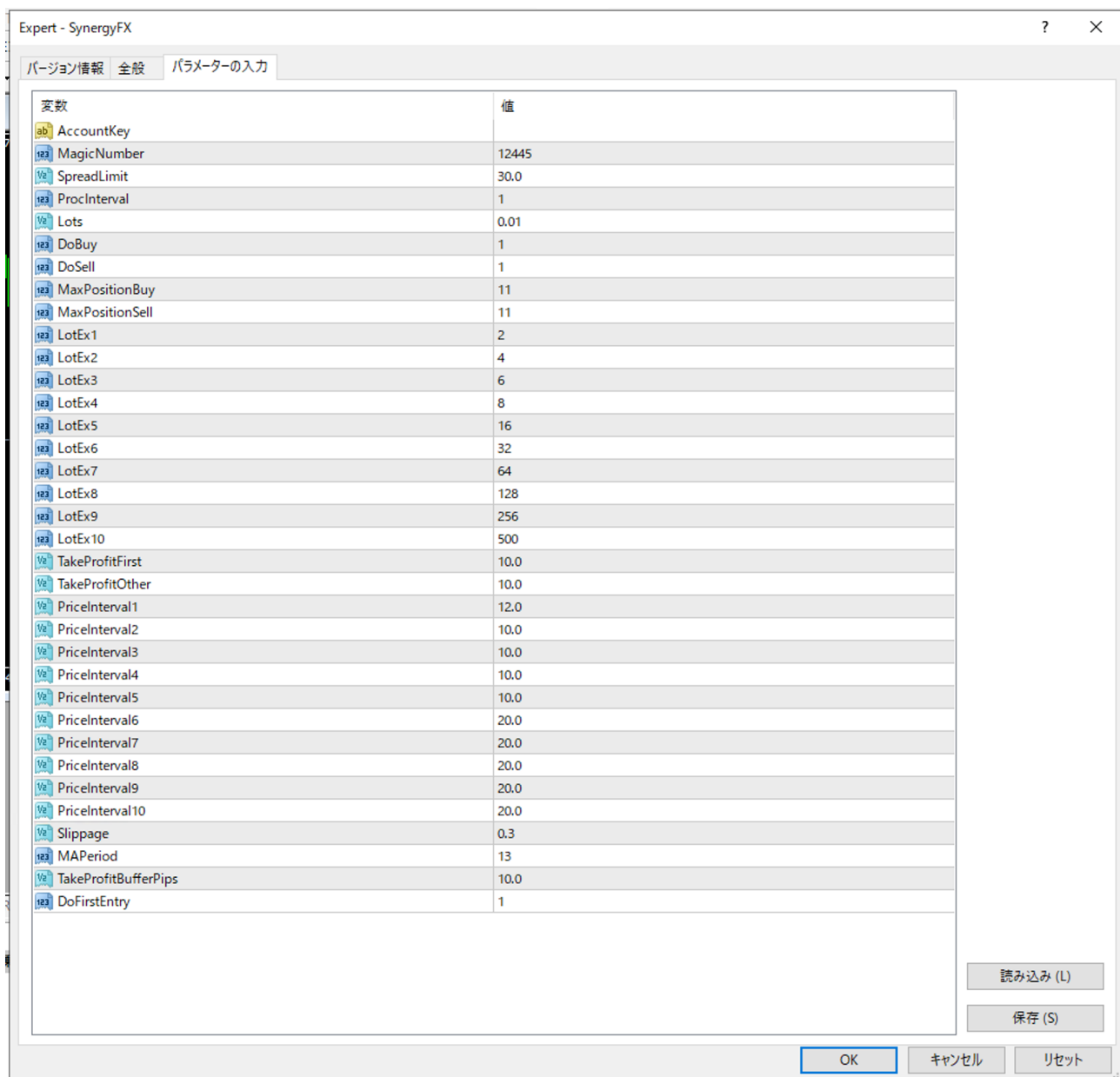


【 SynergyFX 取扱説明書 】

■ 推奨初期設定（MT4 パラメーター）

→ニコちゃんマークをクリック

※ これからMT4を使う初心者の方でもわかりやすいように
用語の意味や理由を簡単に補足しています。



変数	値
AccountKey	
MagicNumber	12445
SpreadLimit	30.0
ProcInterval	1
Lots	0.01
DoBuy	1
DoSell	1
MaxPositionBuy	11
MaxPositionSell	11
LotEx1	2
LotEx2	4
LotEx3	6
LotEx4	8
LotEx5	16
LotEx6	32
LotEx7	64
LotEx8	128
LotEx9	256
LotEx10	500
TakeProfitFirst	10.0
TakeProfitOther	10.0
PriceInterval1	12.0
PriceInterval2	10.0
PriceInterval3	10.0
PriceInterval4	10.0
PriceInterval5	10.0
PriceInterval6	20.0
PriceInterval7	20.0
PriceInterval8	20.0
PriceInterval9	20.0
PriceInterval10	20.0
Slippage	0.3
MAPeriod	13
TakeProfitBufferPips	10.0
DoFirstEntry	1

読み込み (L)

保存 (S)

OK キャンセル リセット

【基本設定】

項目名	説明
AccountKey	アカウント認証用のキー 特定のユーザーだけが使用できるように制限するためのもの。 購入者ごとの割り振っているので、変更すると稼働しなくなります。 ※万が一、アクセスキーが空欄の場合、もしくは削除してしまった場合はサポートまでご連絡ください。
MagicNumber	EA（自動売買システム）を識別するための番号 複数の通貨ペアを使う場合に重複しないよう設定
SpreadLimit	スプレッドの最大許容値（pips） これを超えると新規エントリーしない。
ProcInterval	処理間隔 何秒ごとに条件チェックを行うかを設定

※スプレッドとは？

「買値（Ask）」と「売値（Bid）」の差のことです。

この差額がFX会社の利益の一部になっており、私たちにとっては実質的な取引コストとなります。

スプレッドが狭いほど有利に取引できますが、相場が荒れている時などは広がることもあります。

スプレッドが設定値を超えた場合は、エントリーしません。という項目です。

※エントリーとは？

「新しくポジションを持つこと」つまり取引を始めることを意味します。

買いから入る場合は「買いエントリー」、売りから入る場合は「売りエントリー」と呼びます。

FXでは、チャンスと思ったタイミングでエントリーして、あとは利確（利益確定）や損切りをしていきます。

※ポジションとは？

「現在保有している取引の状態」のことです。

たとえば、「ドルを買っている」状態なら「買いポジション」、「ユーロを売っている」状態なら「売りポジション」と言います。

ポジションを持つ＝エントリーした後の状態、ポジションを決済する＝取引を終了して利益または損失を確定することを意味します。

【ロット（取引数量）設定】

項目名	説明
Lots	初回エントリーのロット数（最小0.01など）
DoBuy / DoSell	買い／売りの自動売買を行うか (1=ON、0=OFF)
MaxPositionBuy / MaxPositionSell	買い／売りの最大ポジション数

【ナンピンロット設定】

項目名	説明
LotEx1 ～ LotEx10	ナンピン時の各段階のロット数 ナンピンするたびにロットが増加していく。 例：LotEx1=2、LotEx2=4 なら 1回目2ロット、2回目4ロット。

※**MaxPositionBuy / MaxPositionSell**の項目で設定した
最大ポジションを超えたピンのナンピンロットの設定は数字を入れても無効です。

たとえば、**MaxPositionBuy = 5** に設定している場合、
LotEx1～LotEx5 までは有効ですが、
LotEx6 以降にどれだけ数値を入力しても無効（使われない）になります。

✔ 有効な設定の例

- LotEx1 = 2
- LotEx2 = 4
- LotEx3 = 8
- LotEx4 = 16
- LotEx5 = 32 ← ここまで有効（5段階）

✖ 無効になる設定の例：

- LotEx6 = 64
- LotEx7 = 128 ...など → MaxPositionBuyの設定を超えるため無効。

【利確設定】

項目名	説明
TakeProfitFirst	初回ポジションの利確幅（pips） → 一番最初のポジション（Lot）での利確目標。 例：10pipsに設定した場合 10pipsの利益が出た時点で自動的に決済されます。 ※この設定は「 最初の1回のみ 」に適用されます。
TakeProfitOther	ナンピン後のポジションの利確幅（pips） → ナンピンによって複数ポジションを保有している時の 合計ポジション に対する利確目標。 ※ナンピン後は全体の平均価格を基準に利確が行われるので、初回より広めの設定が推奨されることもあります。
TakeProfitBufferPips	利確ラインの余白（安全マージン）を調整するための設定。 → 実際の利確条件に 少し余裕を持たせるための安全マージン です。 たとえば利確幅10pips、バッファ5pipsの場合 「実質15pipsの値幅が到達しないと利確されない」設定になります。 ※ <u>スプレッドや滑り（スリッページ）</u> によるズレを防ぐために活用されます。

✔ 補足・TakeProfitOther（ナンピン後のポジションの利確幅）

ナンピンによって複数のポジションを持った場合、それぞれのロットと価格を平均した「平均取得価格」を基準に利確の判断が行われます。

◆ たとえばこんな設定の場合

- 1回目：1ロット（100円で買い）
- 2回目：2ロット（95円で買い）
- 3回目：4ロット（90円で買い）

この時、ロット数の「重み」によって、**平均取得価格は約92.9円**になります。

つまり、

「全部の買値の平均は95円かな？」と思いきや...

ロットが多い＝その価格の影響が強いので、実際の平均はより低い価格に引っ張られる

◆ **この平均価格に対して、TakeProfitOtherで設定したpips分だけ価格が動いたときに「まとめて利確」されます。**

たとえば・・・

TakeProfitOther = 10pips であれば、

平均価格が92.9円なら → **93.9円になった時に決済**されます。

◆ **初回エントリーより広めの設定がオススメな理由**

ナンピン後はポジション数も大きくなっているため、

少しの値動きでも大きな利益が狙える状態になっています。

なので、広めの利確幅を設定することで

✓ あわてず大きな利益を取れる

✓ 無駄な決済を避けられる

というメリットがあります。

★ ポイントまとめ

- ・ 利益の基準は「平均価格」
- ・ ロットが多いほど、価格への影響が大きくなる
- ・ ナンピン後は「まとめて利確」なので、利確幅は広めが◎

※スリッページ（滑り）とは？

注文した価格と、実際に約定された価格のズレのこと。

相場が急に動いたときなどに、思っていたより高く買ったり、思っていたより安く売ってしまうことがあります。

例) 「100円で買いたい」

→ 実際には「100.3円で約定」＝スリッページ発生

【価格間隔（ナンピン間隔）設定】

項目名	説明
PricInterval1 ～ PricInterval10	ナンピンの価格間隔（pips） 段階ごとに自由に調整可能。 各ステップでどれだけ価格が離れたら 次のピンを入れるか（エントリー）を設定できます。
例：PricInterval1=12.0 → 初回エントリーから12pips離れたらナンピン1回目が入る	

✓ 補足：

※pipsとは・・・

1 pipsとは、ドル円やクロス円でいうと**0.01円の値動き**のことです。

たとえば **12pips = 0.12円の差**となります。

✓ 具体例：

- 初回エントリー価格：**100.00円**
- PricInterval1 = 12.0**（12pips）
→ **99.88円**に下がった時点で**ナンピン1回目**が入ります。
（※ $100.00 - 0.12 = 99.88$ ）
- 次に **PricInterval2 = 15.0** と設定していた場合：
→ さらに15pips（0.15円）下がった**99.73円**で**ナンピン2回目**が入ります。

✓ ポイント：

- 間隔を広くすれば：**
→ 相場が大きく動かないと**ポジションが増えにくく、リスクは抑えられる**
- 間隔を狭くすれば：**
→ すぐにナンピンが始まり、**利益チャンスは増えるがリスクも上がる**

【その他設定】

項目名	説明
Slippage	スリッページ（価格のズレ）をどこまで許容するかの設定です。 注文を出したときに、相場が急に動いて希望の価格で約定しないことがあります。 「0.3」はズレにくい代わりに注文が通りにくく、「1.0」などにすれば通りやすくなりますが、ズレやすくなります。
MAPeriod	移動平均線の期間設定 相場の流れ（トレンド）を見るための線で これを使って売買判断する可能性があります。 数値を大きくするとゆっくり変化、小さくすると敏感になります。 ※基本的には、変更せずにお使いください。
DoFirstEntry	初回エントリーを手動で許可するかどうかの設定。 0 = 半自動ON（最初は自分で入る） 1 = 全自動ON（システムが最初から入る） 初心者は「0」にしておくと、 自分のタイミングでスタートできるので安心です。

【通貨別ガイドライン一覧表】（※MAXピン数は10段階）

▼ 各項目の補足説明と根拠：

- 推奨ナンピン間隔（pips）
：通貨ペアごとのボラティリティに基づいて設定。
値動きの大きい通貨ほど広めに設定し、ポジションの密集による含み損リスクを軽減。
- 推奨TP（目安pips）：ナンピン後の平均建値からの利確目安。
通貨の平均的な日中変動幅（ADR）を考慮し、現実的に狙える利幅を基準に設定。
- 推奨最大ポジション数：資金管理とリスクコントロールの観点から、最大でも10段階ナンピンのうち半分～6割程度に抑える設計。
通貨の変動幅に応じて調整。
- 備考：各通貨ペアの特徴や注意点を簡潔に記載。
初心者向け・ボラティリティ高などの判断材料として活用可能。

通貨ペア	推奨ナンピン 間隔（pips）	推奨TP （目安pips）	推奨最大 ポジション数	備考
USDJPY	25～30	10pips目安	5	安定的・ 初心者向け
EURUSD	30	10pips目安	5	安定的・ スプレッド小
GBPJPY	40～50	15pips目安	4	変動大・注意
AUDUSD	30～40	10pips目安	5	比較的安定
NZDJPY	30～35	10pips目安	5	夜間は動き 小さい

【推奨ロット設定】

- スタンダード口座（1ロット＝10万通貨）
→ 初期ロット：0.01（1,000通貨）がおすすめ。
最低必要証拠金50万円～スタート可能。
→ ロットを増やす際は資金量に応じて段階的に調整。
- マイクロ口座（1ロット＝1,000通貨） ※XMのみマイクロ口座あり
→ 初期ロット：0.01（10通貨）でスタンダード口座の0.0001相当。
→ 少額（2～3万円前後）からの初心者最適。
資金に応じてロットを調整しながら無理なく運用可能。

「ロット」とは・・・

→ FXで取引する通貨の数量（サイズ）のこと。

スーパーでたとえると...

- 1ロット＝りんご100個入りの箱
- 0.1ロット＝りんご10個入りの袋
- 0.01ロット＝りんご1個

取引の量が大きくなる＝動くお金も大きくなる、というイメージです。



実際のロットと必要資金

(USD/JPY・スタンダード口座の場合)

ロット数	通貨量	必要証拠金 (1ドル=150円換算)	こんな人におすすめ
1ロット	100,000通貨	約15,000円 (100,000ドル÷1000)	中～上級者向け
0.1ロット	10,000通貨	約1,500円	初心者でも少し慣れてきた人
0.01ロット	1,000通貨	約150円	完全初心者におすすめ✨

※為替レートや取引通貨によって多少変動します。



実際のロットと必要資金

(USD/JPY・マイクロ口座の場合)

ロット数	通貨量	必要証拠金 (1ドル=150円)	こんな人におすすめ
1ロット	1,000通貨	約150円 (1,000ドル ÷ 1,000)	初心者にピッタリ！✨
0.1ロット	100通貨	約15円	ちょっとずつ練習したい人
0.01ロット	10通貨	約1.5円	本当にお試しで始めたい人



補足メモ：

- 1ロットの定義がスタンダード=10万通貨、マイクロ=1,000通貨なので見た目は同じ「1ロット」でも中身は全然違います。
- マイクロ口座ではかなり少額から取引可能なので、初心者が「損しても全然痛くない額」でFXに慣れるにはぴったりです。
- ナンピンロット：段階別に固定設定（倍率ではなく個別指定）
- 利確ポイント（TP）：（例）10pips
 - ・ナンピンが進んだポジションをまとめて決済し、平均建値から設定pips分の

利益が出た時点で利確される。

相場のボラティリティや通貨ペアに応じて柔軟に調整可能。

設定はMT4上のパラメーター「TakeProfitFirst」と「TakeProfitOther」で行い、単位はpips

- 監視周期（Monitoring Cycle）：1000（＝1秒）
※Tick処理では一部の通貨ペアで反応しない場合があるため、一定周期（定期監視）での動作に変更されています。
設定数値はミリ秒（1/1000秒）単位です。例：1000＝1秒、2000＝2秒。
- MagicNumber：通貨ごとに手動で個別設定（被らないようにすること）

■ 注意点

- チャートは1通貨1つずつ表示（複数通貨を1つのチャートで運用しない）
- 必ず『自動売買』ボタンをONにする
- 時間足はM1を推奨

▼ 資金に応じたロット目安（スタンダード口座）

資金額	初期ロット（目安）
50万円未満	運用は非推奨 （溶けるリスクが高いため）
50万円～100万円	0.01～
100万円～	0.02～

※ スタンダード口座は1ロット＝10万通貨と取引単位が大きいため、ナンピンを伴うこのシステムでは最低でも50万円以上の資金が望ましく、それ未満では非常に高リスクです。

安全運用のため、資金量に対して控えめなロット設定を必ず心がけてください。

※ ナンピンによってポジションが複数に増加するため、資金に対して初期ロットが大きすぎると早期にロスカットされるリスクがあります。

安全運用のため、まずはロットは控えめから、慣れてきたら徐々に増やしていくことをオススメします。

▼ 資金に応じたロット目安（マイクロ口座）

資金額	初期ロット（目安）
5万円以下	運用は非推奨 （証拠金不足の可能性あり）
5万円～	0.01～0.03
10万円～	0.03～0.05

※ ナンピンでロットが増えていく設計上、初期ロットは控えめが基本です。

※ 推奨ロットはあくまで参考値です。

資金状況やリスク許容度に応じて調整してください。

※【重要】

上記の数値はあくまで目安であり、必ずしもすべての状況に最適とは限りません。

実際の相場環境や口座資金、トレードスタイルに応じて、各設定はご自身の判断で必ず調整してください。

【トラブル時チェックリスト&対応手順書】

■ よくあるトラブルと対応（初心者でも安心して確認できるチェックポイント）

1. 裁量でエントリーしたのにナンピンが始まらない

《チェック項目》

- ・ 自動売買のボタンがONか？(緑色がON、赤がOFF)
- ・ 1ポジション目か？（2ポジション目以降は無視される）
- ・ マジックナンバーは適切か

2. エントリーしたのにTPが設定されていない

《チェック項目》

- ・ システムがトリガーを認識していない可能性あり（再起動）
- ・ 「Do First Entry」が「0」になっているか？（1だと自動取引状態）

3. 手動で途中のポジションを決済したら止まった

→ 原因：仕様です。

最終ポジション以外の手動決済で自動ナンピンは停止します
(時間が経つと追加でエントリー&決済することもあります)

■ 緊急対応フロー

- ・ 自動売買ボタンOFF（再度設定・適用）
→OFFにただけだとポジションは残るので、手動決済
- ・ ログ（ターミナル・エキスパート）で原因を確認
- ・ 解決しない場合はシステムサポートラインへ

【運用ルール集】

■ 基本ルール

- ・ 裁量エントリーは1通貨ペアにつき1ポジションのみ
- ・ 同一通貨ペアに複数手動でのポジションを持たない
- ・ 1ポジションだけの手動決済は極力控える（特に途中のナンピン）
→決済するなら基本全部決済が推奨

■ 管理ルール

- ・ マジックナンバーは通貨ペアごとに変更すること
- ・ 設定ミスや異常があった場合は必ずサポートへ連絡
- ・ 月末に異常がないか確認

【使用ガイド（初心者向け要約）】

■ このシステムは“完全自動”ではありません。

- ご自身の裁量トレードを「きっかけ」として動き出す「半自動システム」です。
- 自分のタイミングでエントリーし、あとはシステムが自動でナンピン・決済
→ 損切りの機能設定はシステムにはないので、撤退（損切り）タイミングはご自身の判断になります。

■ 利点

- ・ 感情的な利確・損切りを避けられる
- ・ ポジション数を調整、ナンピンの間隔などリスクを限定しつつ利益を狙える

■ ご注意（必ずご確認ください）

- ・ 投資は自己責任です。
- ・ 損失が出る可能性もあることをご了承のうえご利用ください。

■ 推奨環境

- ・ MT4（PCまたはスマホ）
スマホやPCからVPSにログインし、VPSで管理します。
- ・ VPS通信環境が安定していること
複数台システムを導入している人は、メモリオーバーに注意してください。
- ・ チャートを見る際は、大きな画面で見の方が見やすいです。
→ スマホのみでトレードは可能ですが、ご自身の状況でタブレット、またはPCをご活用ください。

《専門用語の解説》

【ナンピンとは？】

ナンピンとは、ポジションを持ったあとに相場が逆行した場合に、より有利な価格で追加ポジションを持つ手法のことです。

たとえば、ドル円を「買い」で持ったあとに価格が下がった場合、さらに下がったところで再度「買い」を入れることで、全体の平均取得価格を下げます。

このようにして、価格が反転した際に小さな値動きでも利益が出しやすくなるのが特徴です。

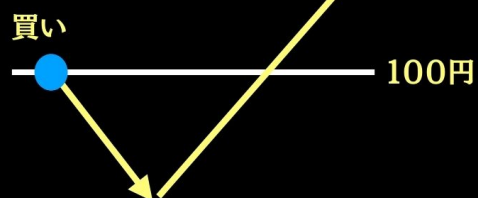
ナンピンは正しく使えば強力な戦略ですが、資金管理が甘いとポジションが膨らみ、損失が拡大するリスクもあるため、最大ポジション数やナンピン間隔を慎重に設定することが重要です。

SynergyFXでは、このナンピン手法を活用しトレードしていきます。

ナンピン手法

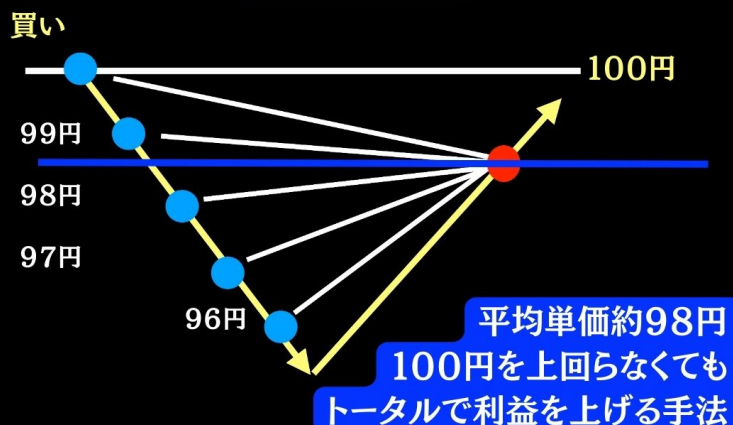
株式などでも使う取引手法の一つで、買い建てた後に追加で買い増しする
そうすることで1株あたりの買い値(平均取得単価)を下げる手法です。

非ナンピン



買いエントリー後に100円を上回れば利益になります。

ナンピン手法



【利確とは？】

利確とは、「利益確定」の略で、持っているポジションを決済して利益を確定させることを意味します。

たとえば「買い」でエントリーした後に価格が上昇した場合、そのポジションを売って差額の利益を得ることを“利確”と呼びます。

【相場のボラティリティとは？】

ボラティリティとは、相場がどれだけ大きく動くか（価格の変動の幅）を表す言葉です。

例えば、1日に50pipsほどしか動かない通貨もあれば、100pips以上動く通貨もあります。

この「変動の大きさ」がボラティリティであり、ボラティリティが高い通貨はリターンも大きくなる一方で、リスクも大きくなります。

SynergyFXでは、ボラティリティの高低に応じてナンピンの間隔や利確の目安を調整することで、無理のないトレード設計が可能になります。

【MT4とは？】

MT4（エムティーフォー）とは、「MetaTrader 4（メタトレーダー4）」の略で、世界中の投資家が使用しているFX（外国為替証拠金取引）専用の取引プラットフォームです。チャート分析や注文、そしてEA（自動売買システム）の運用まで行える高機能なソフトであり、SynergyFXもこのMT4上で動作します。初心者の方でも、スマホ版とPC版の両方が使えるため、シンプルな操作で始められるのが特長です。

半自動運用のしくみ：ナンピンの流れ（ロット編）

Synergy FXでは「最初のエントリーだけ自分で（裁量）」
そのあとは自動で“ナンピン”されていく仕組みになっています。

たとえば、あなたが...

【Step 1】 手動でエントリー

0.03ロットの売買を自分で入れたとします。

【Step 2】 システムが自動でナンピン

その後、相場が逆に動いたとき

Synergy FXが自動でロットを増やしながらかポジションを追加します。

設定されている倍率が以下のようなとき：

ナンピン回数	倍率 (LotEx)	ロット（自動追加）
1回目	×2	0.06 (0.03 × 2)
2回目	×4	0.12 (0.03 × 4)
3回目	×6	0.18 (0.03 × 6)
4回目	×8	0.24 (0.03 × 8)

 つまり、「0.03」で始めたあなたのトレードは、
相場が逆行するたびに、
システムが自動でロットを大きくしながら“追いかけて”くれる状態になります。

ポイントまとめ

- 最初の「0.03」ロットは自分で入れる（※0.03は例え）
- その後は設定された倍率に沿って、自動でポジションが追加されていく
- ナンピンによって、決済ラインが“近くなる”ため、リカバリーしやすい設計に

【設定パターン比較】 マイクロ口座

項目	リスク高め・利益狙い型	安全重視・安定運用型
Lots (初回ロット)	0.05～0.1	0.01
MaxPosition Buy / Sell	11 (*最大)	5～7 に制限してもOK
LotEx1～LotEx10	ロット急増型 (例：1,2,4,8...) ※LotEx10で256など	緩やか増加 (例：1,1,2,3,4...) ※無理のない設定が鍵
PricelInterval1～ 10	狭め (10～15pips) で 素早くポジション追加	広め (20～30pips) で ゆっくり追加
TakeProfitFirst / Other	5～10pips (こまめに利確)	15～30pips (ゆったり利確)
TakeProfitBuffer Pips	5.0 (利確しやすく)	10.0～15.0 (スリップ対策)
Slippage	1.0 (多少ズレてもOK)	0.3 (精度重視)
DoFirstEntry	1 (全自動ON)	0 (半自動ON) 初心者向き
MAPeriod	9～13 (短期寄り)	20～25 (トレンド重視)

【ご利用にあたってのご注意】

本資料は、設定内容の理解を深めるための**参考情報**として作成されたものであり、**投資助言を目的としたものではありません。**

実際の運用に関しては、すべて**ご自身の判断と責任のもと**で行ってください。

設定内容や相場の動きによっては損失が発生する可能性もあります。

そのリスクを正しく理解し、納得のうえでご利用ください。

ご自身で判断・管理が難しいと感じる方は、本システムの利用を控えていただくことをおすすめします。